



本多氏入封四〇〇年記念

企画展

膳所藩と政城

築城から
幕末十一烈士事件まで



平成30年 3月3日^土—4月15日^日 大津市歴史博物館

【開館時間】午前9時から午後5時（入場は午後4時30分まで）

【休館日】毎週月曜日、3月22日（木）

【主催】大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・ 京都新聞

【協力】膳所藩資料館 【後援】NHK大津放送局・ 宇都宮放送・ radio

【観覧料】一般600円(480円) 高大生 300円(240円) 小中生200円(160円)

※（ ）内は前売り、15名様以上の団体、大津市内在住の65歳以上の方、大津市内在住の障がい者の方と介護保険の要介護者の方または要支援者の方の割引料金（証明するものをご提示ください）。

※前売り券は、大津市観光案内所（JR大津駅・石山駅・堅田駅前）、ローソンチケット（Lコード56641）をはじめ、京阪津地区の主なプレイガイドで2月3日から3月20日まで発売。

〒520-0037 大津市御陵町2-2 TEL.077-521-2100
<http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

膳所藩主本多康俊所用具足 江戸時代後期 膳所藩資料館蔵

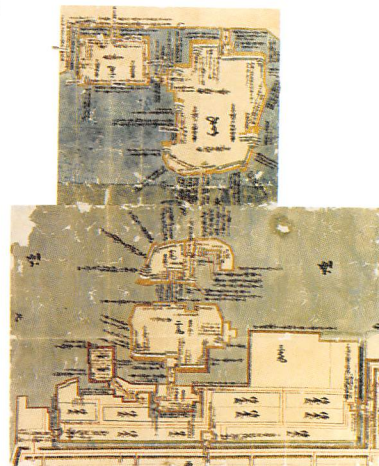


築城から幕末十一烈士事件まで

企画展

膳所城と藩政

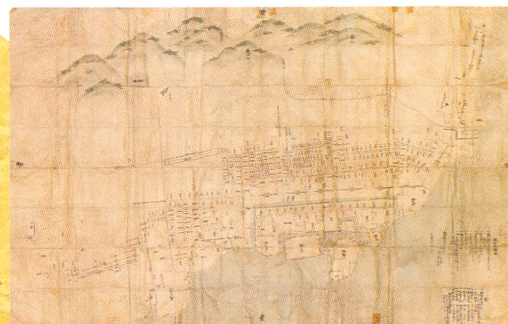
本多氏入封四〇〇年記念



滋賀県指定文化財 膳所城寛文地獄修復願々所絵図
寛文2年(1662) 滋賀県立図書館蔵

平成二九年(二〇一七)、本多康俊が膳所藩主となった元和三年(二六一七)から四〇〇年となる節目の年を迎えました。藩主は、康俊、俊次と続いて後、いったん菅沼氏、石川氏に代わりますが、慶安四年(一六五一)、本多俊次が藩主に再任されて以降、明治維新まで、本多氏が世襲しました。膳所藩は、江戸幕府にとつて、畿内近国を抑える譜代大名として重要な役割をにない、また禁裏(京都御所)や京都の消防、交通の要地である瀬田唐橋の修築などにもあたっていたのです。

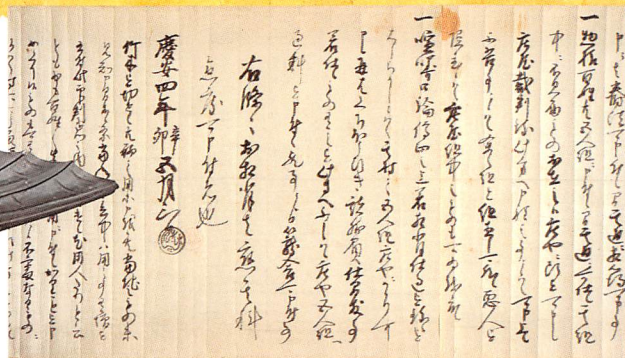
本展では膳所城や城下町を描いた大絵図、藩主所用の具足、合戦のときの家臣団の陣立図、幕末動乱のなかで処刑された十一烈士の遺品をはじめ、藩校遵義堂や膳所焼に代表される教育や文化、領内農民の生活の様子などを、バラエティーに富んだ資料の数々によって紹介します。



大津市指定文化財 膳所絵図 元禄15年(1702) 個人蔵



膳所城鯉瓦 文政7年(1824)
大津市立瀬田小学校蔵



膳所藩主本多俊次定書 慶安4年(1651) 個人蔵



膳所鉄袖焼耳付茶入
銘 童女
江戸時代前期
本館蔵



膳所藩勤王志士血判状 江戸時代後期 膳所藩資料館蔵



膳所藩本多氏英紋幟旗
江戸時代 膳所藩資料館蔵

[表写真]

近江八景図屏風 江戸時代後期 本館蔵、膳所藩陣立図屏風 江戸時代後期 膳所藩資料館蔵、膳所藩烈士こより字短冊 慶応元年(1865) 本館蔵

企画展関連講座

時間はいずれも14時から15時30分(3月17日は午後半日) ※有料。事前申込が必要。詳しくは大津市歴史博物館まで。

3月10日(土) 幕末の悲劇 膳所十一烈士事件

樋爪 修(本館館長)

3月17日(土) 現地見学 一膳所城下町を探る

樋爪 修(本館館長)

3月24日(土) 膳所藩の飛地領支配

郡山 志保(甲南大学非常勤講師)

4月 7日(土) 膳所城と粟津晴嵐の景観について

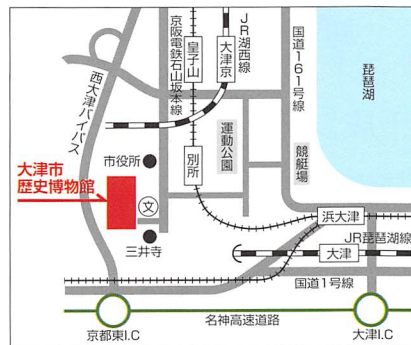
横谷賢一郎(本館学芸員)

4月14日(土) 膳所縁心寺文書を読む 一藩主の菩提所とその史料

高橋 大樹(本館学芸員)

大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町2-2 TEL.077-521-2100
<http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>



京阪電鉄石山坂本線「別所」駅より徒歩5分
JR湖西線「大津」駅より徒歩15分

無料駐車場
(乗用車約70台)